



資料4-1

令和8(2026)年2月10日(火)
会場:北海道経済産業局 第1会議室

北海道の気候変化と 2025年夏の天候

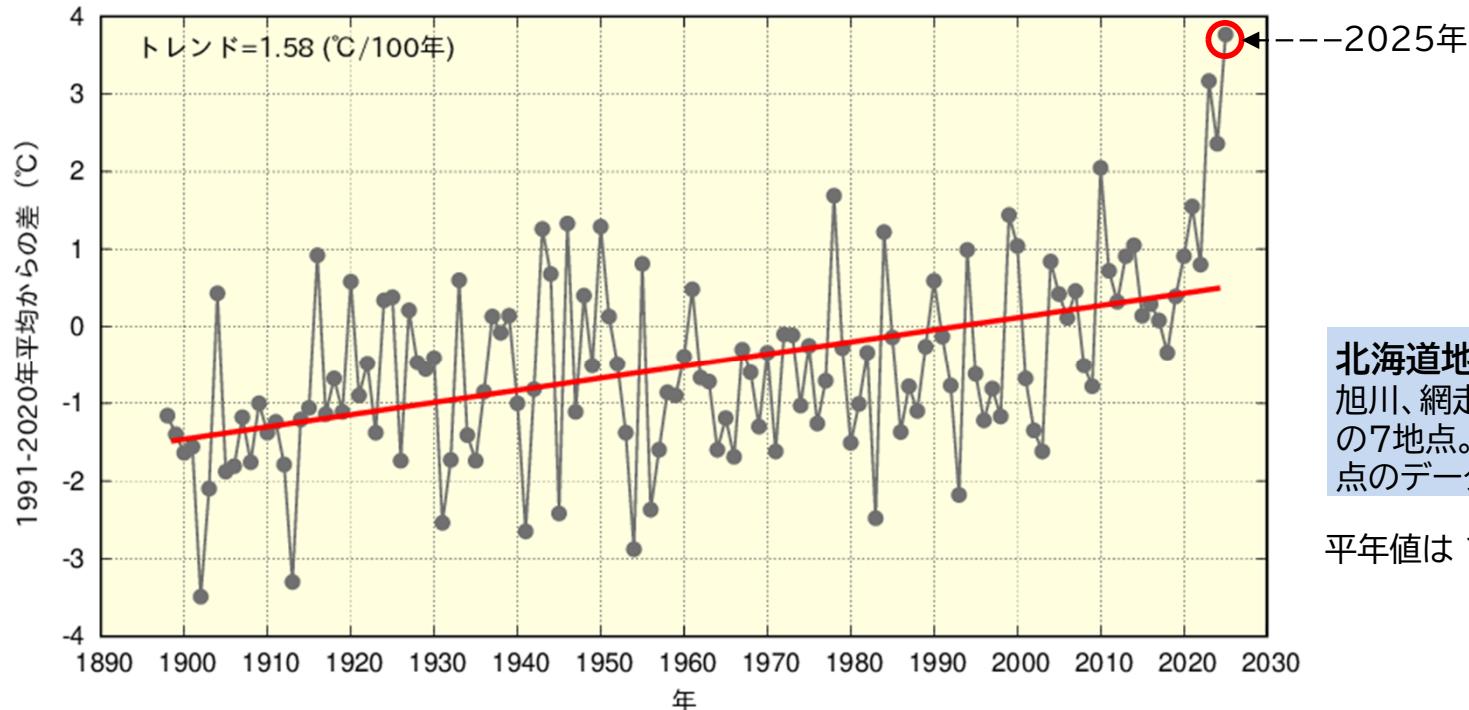
札幌管区気象台
気象防災部 気候変動・海洋情報調整官
桜井敏之



夏(6~8月)の平均気温は長期的に上昇

- 北海道地方の夏の平均気温は、100年当たり 1.58°C で長期的に上昇している。
- 2025年は歴代1位の高温。2023年以降、顕著な高温の夏が続いている。

北海道地方7地点、夏(6~8月)の平均気温の長期変化(統計期間:1898~2025年)



北海道地方7地点

旭川、網走、札幌、帯広、根室、寿都、函館の7地点。都市化の影響を受けている地点のデータを含む。

平年値は1991~2020年の30年平均値

地球温暖化の影響

- 日本の2025年夏の平均気温も、歴代1位の高温を記録した。
- 気象庁異常気象分析検討会では、2025年夏の日本の記録的な高温について「地球温暖化による気温の底上げがなければ起こり得なかった事象」であったことが指摘されている。

気象庁報道発表「令和7年夏の記録的な高温と7月の少雨の特徴およびその要因等について」
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2509/05b/kentoukai20250905.html>

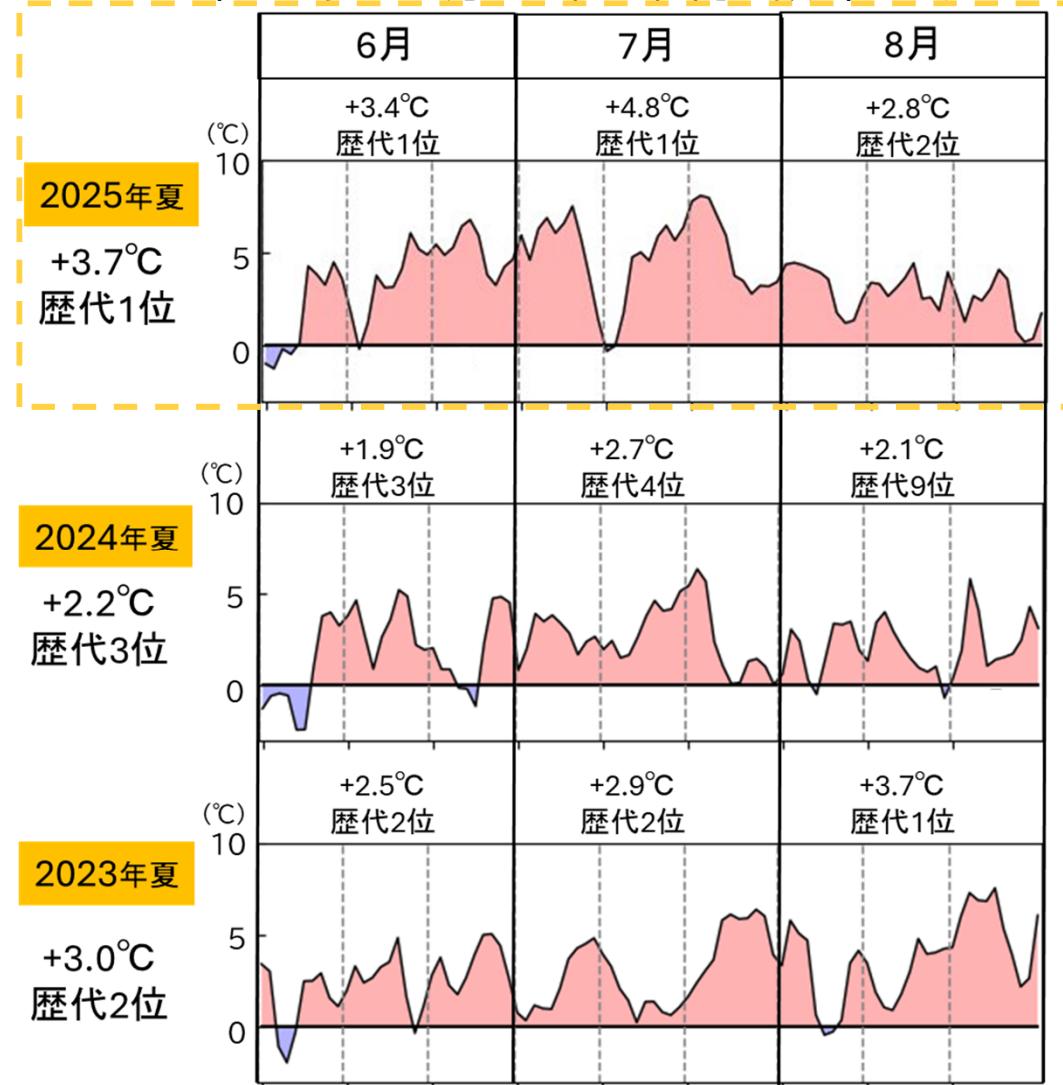


北海道地方 2025年夏の記録と近年の比較【気温】

北海道地方の直近3年の夏の日平均気温平年差の経過

(道内気象官署等22地点平均)

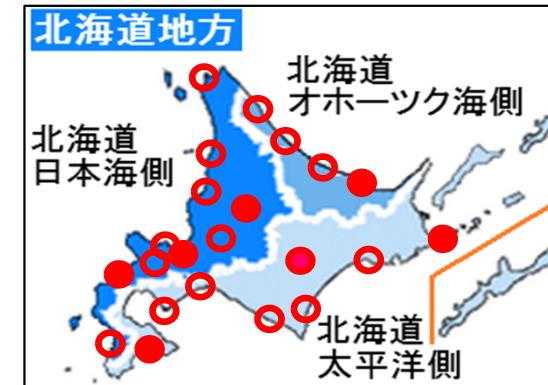
- ✓ 2025年は夏平均のほか、6月と7月で歴代1位。
- ✓ この3年は、多くの月が上位3位内に該当した。



(順位：1946年からの統計期間。平年差：1991～2020年平均値との差)

地域別にみても、

2025年夏の平均気温は、北海道日本海側、オホーツク海側、太平洋側のいずれも歴代1位の高温。



○北海道地方の気象官署・特別地域気象観測所(全22地点)

●は気温の長期変化の監視に利用している7地点(旭川、網走、札幌、帯広、根室、寿都、函館)。

気象官署及びアメダス観測所のデータによる

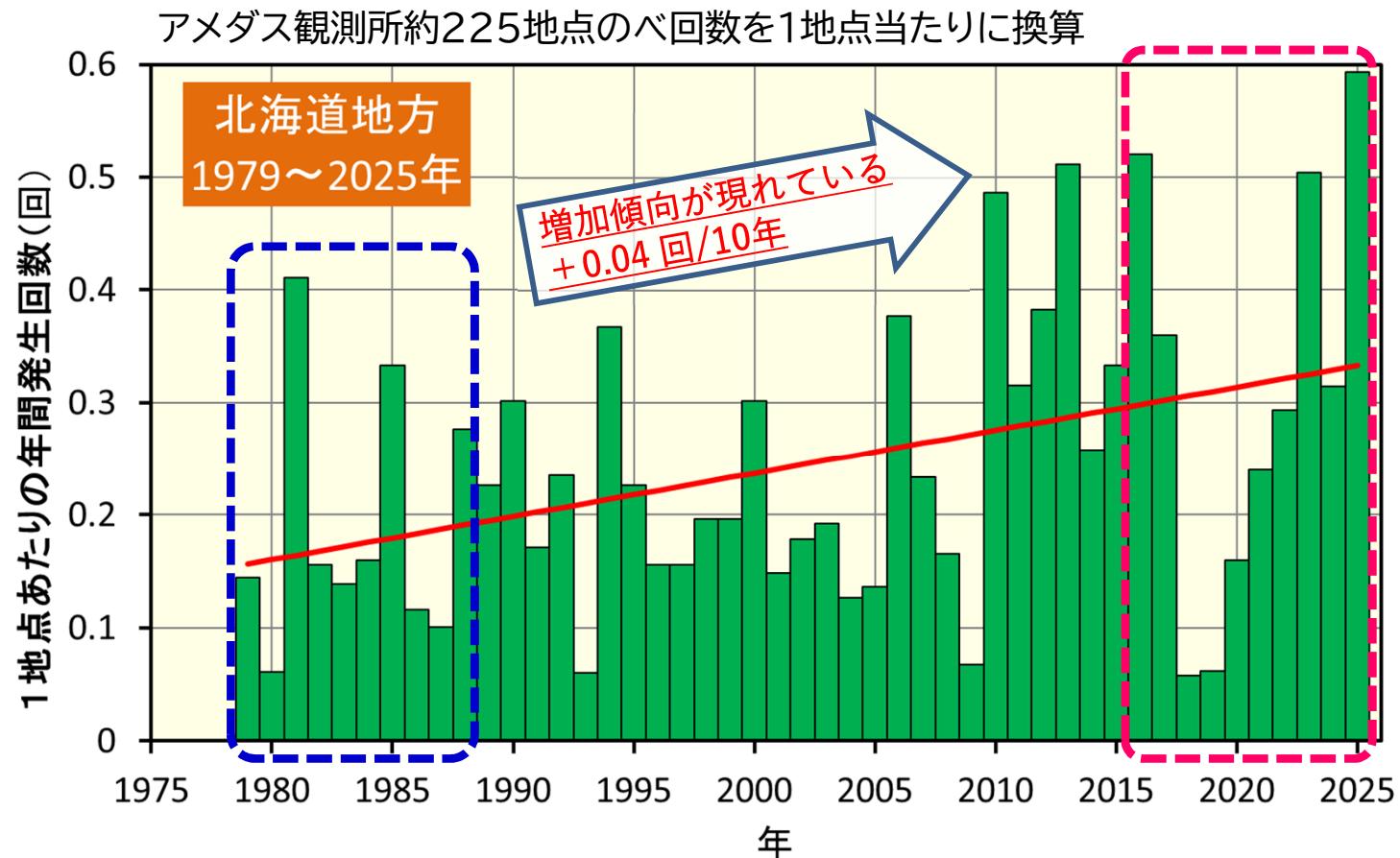
● 2025年の道内日最高気温ランキング

1位 北見 39.0°C (7月24日)
(道内の歴代2位の記録)

2位 帯広 38.8°C (//)
3位 佐呂間 38.6°C (//)



1979年～2025年(速報値※)の変化傾向



1時間降水量30mm

傘をさしていてもぬれる



道が川のようになる



最初の10年間(1979～1988年)
の平均年間 発生回数(0.19回)

約1.6倍に増加

最近の10年間(2016～2025年)
の平均年間 発生回数(0.31回)



「日本の気候変動2025」

- 日本の気候変動について、これまでの観測結果と将来予測をとりまとめた資料。
- 国、地方公共団体、事業者、国民が気候変動対策を進める上で必要となる科学的知見を提供することを目的に、令和7年3月に文部科学省・気象庁より公表。

「日本の気候変動2025」の構成

【概要版】(pdf版・ppt版) New!

- 気候変動に関する入門資料
- 講演する際のスライドとしても利用可能



←気象庁
ホームページ
「日本の気候
変動2025」

<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ccj/index.html>

【本編】(pdf版・html版) New!

- 日本の気候変動に関する自然科学的知見を概観した基本資料
- 観測結果と将来予測に分けて、平易な表現で簡潔にまとめた



【詳細編】(pdf版)

- 気候変動に関する専門資料
- 本編を読む際に、個別の詳細を辞書的に参照

【振興局別リーフレット】

- 振興局単位の基本情報をまとめたリーフレット

【その他資料】 New!

- 解説動画 気象キャスターと気象庁職員の対話形式で、気候変動についての理解を深める
- 素材集 概要版、本編、詳細編に掲載している画像ファイルや数値データを掲載。

参考

「北海道地方の気候変動」(札幌管区気象台ホームページ内)

北海道地方における「これまでの気候の変化（観測結果）」と「これからの気候の変化（将来予測）」をまとめて掲載

https://www.data.jma.go.jp/sapporo/tenki/kikou/sp_ccreport/top.html